

令和2年度 指定管理業務 評価票

箕面公園	【指定管理者】 メイプルハーツ企業共同体	【指定期間】 平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日	【所管課】 池田土木事務所 都市みどり課
-------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------

【管理状況(概観)】
 ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を管理運営した。昆虫館においては、他館と連携した企画展の開催や、生態展示の充実等を実施し、紅葉シーズンにはライトアップ等のイベントを積極的に実施し、利用者の増加に努めた。
 ○施設の維持管理はおおむね良好で、当初予定以上の危険木処理、モミジの再生等にも取り組んだ。
 ○利用者満足度調査の全体的な満足度については良好であり、管理体制については管理業務を遂行する上で大きな問題は見られなかった。
 ○新型コロナウイルス感染症の対応については、閉館中にはYouTubeチャンネルを開設した。また、適切に感染症対策を講じながら、非常事態宣言解除の翌日に再開させるとともに、飼育スタッフは2チーム編成とし、職員の感染症対策を講じ、持続的な昆虫館の管理運営を可能とした。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【箕面公園】 評価委員会の指摘・提言
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部、実施されていない。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部、実施されていない。	A	施設所管課評価は適正である。
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、NPO団体、府民グループ、地域、学校等との協働については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部、実施されていない。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、NPO団体、府民グループ、地域、学校等との協働については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部、実施されていない。	A	施設所管課評価は適正である。
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	公園利用者の利便性の向上がなされたか(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組みされているか。) ※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。 来園者数の確認。 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。ただし、イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部、実施されていない。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、一部、実施されていない。	A	施設所管課評価は適正である。
	収益事業の実施状況(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、まちやまフォーラム及びMachiyama Insects Ecology Labについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、実施されていない。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を適切に実施した。ただし、まちやまフォーラム及びMachiyama Insects Ecology Labについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、実施されていない。	A	施設所管課評価は適正である。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> トラブルの未然防止のために案内や注意喚起の看板を設置、ホームページでもアップし利用者にわかりやすく提示。巡視の際に指導や注意喚起を行っている。7月の長雨による土砂崩れや落石情報、通行止め措置などの情報を提供。 ○コロナ対策「3密を避けるA1注意看板」を滝前、一の橋に設置 ○川は危険、増水危険立入禁止看板等設置 ○土日GW お盆等、紅葉シーズンガードマン配置 ○園内店舗等へ紅葉シーズンの車両通行等の協力依頼文配布10/26 ○苦情情報 11月末現在34件(野生動物への苦情、トイレの苦情など) ○禁止・注意指導等4~11月 ルールを明確にし巡視員が適切に注意した。 喫煙者注意 10回 滝前ドローン注意 3回 火気使用注意 5回 園内走行自転車 16回 など ○事故・体調不良者対応 ・4/14市内在住60代女性滝道通行中落ち枝頭部負傷。連絡を受け急行、清潔ガーゼで応急処置し、治療終了まで被害者をフォロー。 ・10/12野口像付近体調不良転倒救急搬送 ・10/15瀧安寺階段で81才女性転び救急搬送 ・10/18瀧安寺前で84才男性踏き救急搬送 ・11/17男性滝道で転倒救急搬送 ・11/1774才女性滝安寺で転倒救急搬送 など ※救急案件については救急隊と連携、誘導、搬送などで協力した。	A	<p>落枝による人身事故については、重く受け止める。</p> 一方、負傷事故を受け、折れ枝・掛かり枝の重点チェック、当初予定以上の危険木処理を行い、再発防止に取組んだことは評価する。	B	施設所管課評価は適正である。 落枝による人身事故が発生したことは、重く受け止める。引続き再発防止に向けた取組みを進める必要がある。 本公園の特性(二次的自然と歴史の融和)を考えると、自生樹木のみならず、全般的な巡視により注力する必要がある。
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
園内清掃について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。	

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【箕面公園】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)		評価 (S~C)		
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。						
	運動施設について、良好な管理を行ったか(頻度および技術について確認。)						
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)						
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「企画展」の開催、生体展示の充実、他館との協働 ・第9回「もつとらめくきらめく昆虫展」(1/15~10/26)第10回「昆虫化石展」(7/8~9/7)第11回「日本の蝶展」(10/2/~3/29) ・「ゴキブリ展リターンズ」(5/22~6/29)「カブクワ展」(7/17~8/31)オオムラサキ特別展示(7/16~9/7) ・狭山池博物館 服部緑地植物園展示協力 ○昆虫館イベントの充実 コロナにより密を避けるため館内、飼育室でのイベントは中止となっているが、開催可能なイベントは万全な対策を取り再開している。 ・「昆虫クラブ」毎月第3日曜日開催 6月~再開 ・「昆虫DIY」毎月第4日曜日開催 6月~再開 ・「かぶとむしミニ講座」7/22~7/26 249人参加 ○インタープリター講座・インタープリターの活躍 ・インタープリター養成講座2020開講8~10月全6回7名受講 ・インタープリター2018・2019年受講者「むしむしガイド」として8名活動中。「かぶとむしミニ講座」「昆虫DIY」などで活動中 ○外部講演・移動昆虫教室など ・メイプル文化講座はコロナで中止 狭山池博物館講演8/10新島館公民館講演8/2 9/13 ほか ・移動昆虫教室 9月再開 9月2件 10月1件 ・博物館実習受入 近大 8/7・8・21・22 9/11・12 ○希少種保全活動継続 ツシマウラボシジミ、ウスイロヒョウモン 7/31環境省担当官来館 ○入館者数 緊急事態宣言で休館していたが、感染防止策を徹底し5/22~再開。8~10月24,186人(昨年20,07人)116.8%増加 ○情報の発信 ・コロナで休館中に3/20~YouTubeに「昆虫館チャンネル」を開設。SNSでも活動状況を発信、反響を呼びメディアでも取り上げられた。 ・NHKラジオ子ども科学電話相談(昆虫担当) <p>【自己評価】</p> <p>非常事態宣言解除前の4月中に開館に向けた感染対策の準備を始め、関係部署と協議調整の上、感染防止対策を徹底し、解除翌日5/22より再開させた。休館中もYouTubeに昆虫館チャンネルを開設、SNSで発信し利用者の反響を得た。人数制限をしながら最善の感染対策を取り、安全安心な施設との評価を得て、8~10月は昨年を大幅に上回る来館者となった。「企画展」は第9回~第11回と連続開催。生体展示でも「ゴキブリ展リターンズ」「カブクワ展」「オオムラサキ特別展示」と飽きさせない展示に努め好評を得た。また2つのチーム編成にするなど飼育スタッフの感染防止対策も徹底した。</p>	S	緊急事態宣言解除後、新型コロナウイルス感染症対策を講じて直ちに再開し、多種多様な企画展を実施することで、 再開後、例年を上回る来館者数を記録 したことは、高く評価できる。	S	施設所管課評価は適正である。 昆虫館にて感染症対策を講じながら実施した活性化の取組みより来園者が大幅に増加したことは高く評価できる。	
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。						
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取組について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>昨年度末に実施した「モミジの山再生のための検討会」を受けて、モミジ苗の植樹、さらにクスギ苗の植樹を行い自然環境の維持創出に努めた。自然環境学習については、自然観察会の実施や園内で活躍するNPOグループなどとも協働、活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モミジ苗の植樹・育成、クスギ苗の植樹(災害伐採あとと中心)R2.2~R2.4瀧安寺庫裏裏 東南斜面、望海階段入口、野口像下、食草温室裏など計50本 滝前瀧見橋右岸上 箕瀧案寄付植樹 5本 ○植樹モミジ保全 植樹分に計画的に灌水 ○ヨウシュヤマゴボウなど単独繁殖植物除草(植樹モミジ周辺) ・モミジ育成の普及:5/9モミジ実生苗の鉢上げ(NPO法人みのお山麓保全委員会&アサンプション国際小学校児童)コロナで中止 ○自然観察会 7月~人数を制限して再開 ・7/25 12名 8/2 21名 10/11 14名参加 ○昆虫クラブ開催 ・「昆虫クラブ」毎月第3日曜日開催 6月~再開 ・「昆虫DIY」毎月第4日曜日開催 6月~再開 ○園内での市民グループ、NPO団体等主催自然環境学習実施への協力 ・8/1 10/18箕面の山バトロール隊観察会 <p>【自己評価】</p> <p>H30年の台風被害後の瀧安寺庫裏裏や望海入口、野口像下などにモミジ苗を植樹。シカ食害からの防止ネットの設置、計画的な灌水を実施。環境学習は緊急事態宣言解除後、抽選方式による人数制限など感染対策を徹底、6月から再開した。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。 モミジの植生においては、植栽環境の整備(光条件の改善等)も視野に入れた施策が必要である。	
利用者の安全確保対策の具体的方策(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。		

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【箕面公園】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	危機管理体制(非常時対応について、訓練や研修を実施したか)。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに従い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(5) 府政策との整合	新型コロナウイルス感染症に対する対応を適切に実施できたか(感染拡大防止に向けた対策の実施、府民への周知が適切なタイミング・手法で実施されたか)。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園入口や事務所前、千本園路府道口にコロナ禍でのマナー啓発・注意喚起のオリジナルイラストA1判の大型ポスターを掲示。来園者にわかりやすく注意喚起した。 滝前のベンチにコーンを設置、距離を取ってすわるように制限した。 非常事態宣言解除後、家族・小グループ単位で参加可能な自然観察・週末ウォーキングなど野外イベントは、チェックリストで感染対策を徹底した上で再開した。 休館時に昆虫館You Tubeチャンネルを開設、SNSでもスタッフの活動を発信、反響を呼びメディアでも取り上げられた。 非常事態宣言解除前の4月から昆虫館の再開に向けた準備に取り組み関係部署と協議調整の上、感染防止策を徹底させ、解除直後の5/22に再開させた。 コロナ追跡システムを公園入口、昆虫館前などに掲示。昆虫館ではパンフレットに添え全員に配布した。 ホームページはじめ昆虫館広報誌、シティライフなど様々な手段で感染防止策の内容、入館制限などをわかりやすく発信。 昆虫館飼育スタッフは2チームの編成とし、感染防止策を取った。 昆虫館の入口、館内などに案内スタッフを増員、入館制限や体温測定、消毒作業を実施。 排煙窓を開放して換気、CO2測定器を導入1000PPM以下になるように監視した。 安心安全な施設との評価を得て、入館者は昨年を大きく上回った。8~10月24,186人(昨年207,07人)116.8%増加 <p>【自己評価】</p> <p>非常事態宣言でイベントが中止になり、昆虫館も閉館が続く中、再開に向けた準備を早期に開始。関係部署と協議調整の上、感染対策を徹底、解除直後の5/22に再開することができた。ホームページや広報誌により感染防止対策を周知。スタッフを増員して入館制限、体温測定、消毒を実施するなど感染防止を図り、安心して来館できる施設として評価されている。</p>	S	<ul style="list-style-type: none"> 休館時の独自の取組みとして、YouTubeにて「箕面公園昆虫館チャンネル」を開設した。 緊急事態宣言解除前から、解除宣言後の昆虫館の開放について土木事務所と協議の場を主体的に設け、解除後、迅速かつ円滑な施設再開を実現した。また感染対策として、飼育スタッフを2組体制として運営に当たること、職員の感染症対策を講じ、持続的な昆虫館の管理運営を可能としたことは、高く評価できる。 	S	施設所管課評価は適正である。 昆虫館でのコロナ禍における情報発信の工夫や、持続的な運営体制確保の取組みは高く評価できる。
II さらなるサービスの向上に関する事項						
	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>○総合的評価として「全般的な満足度」1.6との評価をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において、山間部の自然の豊かな空間で、フィジカルディスタンスが適度に確保できる等の理由により、常連以外の来園者(特に高齢者の比率が増加)が増加したと考えられる。 <p>【自己評価】</p> <p>○高齢者の利用が増加していることから、インターネットを多用しない来園者に配慮し、ホームページ以外にも園内の随所に感染症対策に関する看板等を分かりやすく掲示した。○評価が低かった個別事項については、以下のとおり取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便所施設については、改修工事を行ったものについては、新施設に適切な方法で清掃・維持管理に取り組む。 ・高齢者や障がい者、乳幼児への配慮については、問合せや巡視の対応を丁寧に行うとともに、迅速な舗装の補修により快適な園路の維持に取り組む。 ・コロナ禍においては、屋外イベントや少数単位でのイベントを着実に実施。コロナ終息後、観光客へ訴求力のあるイベントを企画・実施するとともに、広報の強化を図る。 ・売店、サービスについては、今年度導入したキッチンカーを引き続き展開し、サービス向上に取り組む。 	S	公園の全般的な満足度は1.6で、非常に高い評価を得ている。年間トータルの総合評価では、回答者の98%が「満足」又は「やや満足」と回答している。	S	総合的な満足度は非常に良好であり、良好な管理運営であると認められる。
(1) 利用者満足度調査等	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組を行ったか。	<p>【実績】</p> <p>便所施設、便所掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、衛生管理については特に利用者からの関心も高まっており、清掃方法について業務委託先と協議をし、清掃クオリティ向上への取り組みの強化策を共有した。また巡視時のチェックを厳格、故障が発生した場合は迅速に修理に対応する等、安心安全にトイレを利用いただけるように努めた。 <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で多くのイベントは中止せざるを得ない状況となったが、自然観察会等、屋外で少人数を対象に開催するイベントは、非常事態宣言解除後、速やかに再開した。また夏休みカブトムシ講座は、インタープリター養成講座修了者をスタッフとして活用することで感染防止策を強化し実施した。 <p>高齢者や障がい者、乳幼児等への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のもと、園内の案内看板や注意喚起の表示では、文字情報のみではなく、オリジナルイラストを利用したポスターを制作して配置する等、多様な利用者を対象に情報伝達の手段に工夫を凝らして、トラブル防止に努めた。職員の声かけ等も、状況に応じて積極的に実践した。 <p>【自己評価】</p> <p>コロナ下でイベントは減少したが、自然観察会等、屋外で少人数を対象とするイベントは、早期に安全対策を講じ、非常事態宣言解除後速やかに再開した。以前より要望の高かったカフェ設置については、昆虫館前広場にキッチンカーを導入しカフェスペースを展開、来園者の利便性向上に努めるとともに、来園者に癒やしの空間を提供すべく、仮設の花壇を設置し、美しい春の彩りを演出した。</p>	A	昨年度評価の低かった項目については、便所施設に関しては、大阪府の便所改修工事に協力した。イベントに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、開催可能なイベントから順次再開した。また、要望の多いカフェに関しては、昆虫館前にキッチンカーを設置した。	A	前年度のアンケート意見に対し、満足度向上のため適切に取組みを実施している。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【箕面公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) 其他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】 ○「まちやまアプリ」の開発、普及 ・園内インフラ整備に伴い、箕面公園公式アプリ「まちやまナビ」を開発、H31年4月～一般ダウンロード開始した。英文併記とした箕面公園Map情報を搭載、園内の案内可能とした。本年度は公園内だけでなく商店街も含めて拡充を検討していたが、コロナで中断。コロナ収束後検討を進める。</p> <p>【自己評価】 「まちやまナビ」の活用を上げ、来園者の利便性向上を検討していたが、コロナにより中断。コロナ収束後、商店街とも協議検討を進める。</p>	A	<p>昆虫館休館時に、新たな情報発信サービスとして、YouTube上に箕面公園昆虫館チャンネルを開設し、昆虫の生態等に関する動画を公開したことは評価する。</p> <p>来年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、滝道沿いの商店等と協力しながら、まちやまアプリの開発を進め、利便性向上に寄与することを期待する。</p>	A	施設所管課評価は適正である。
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】 計画通り施行。 平成29、30年度、収益をアプリソフト開発費に充当</p> <p>【自己評価】 特に問題なし</p>	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	適切な予算執行である。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画(応募時に示した管理体制を構築したか)。	<p>【実績】 ○管理事務所 所長1名 副所長2名 事務職員 巡視、作業班 昆虫館受付 を配置。 ○昆虫館 館長1名 副館長1名(昆虫飼育担当) 事務職員(館内案内) 館内展示担当 昆虫飼育担当を配置</p> <p>【自己評価】 予定通り配置</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	
	必置技術者等の配置(技術者を配置したか)。	<p>【実績】 一級造園施工技術資格者 1名 甲種防火管理者資格保持者 1名</p> <p>【自己評価】 予定通り配置</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に必置技術者等を配置した。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認)。	<p>【実績】 ・労働災害無し ・災害状況下での巡視、倒木多発次期、区間の巡視に際しヘルメット着用を遵守。 ・チェーンソーの防護服を購入。</p> <p>【自己評価】 安全管理については朝礼等で徹底している。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理運営が行われている。	A	適切に管理運営が行われている。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか)。	<p>【実績】 各社 経営状況に問題なし</p> <p>【自己評価】 特に問題なし</p>	A	構成企業の1社に2期連続の営業損失が発生している、	B	直近2期に連続して営業利益と当期純利益がマイナスである構成団体に注視する必要がある。